

＜競技、審判上の確認及び注意事項＞

1. 試合形式について

- ※ 2018年度(公財)日本バレーボール協会2人制ビーチバレーボール競技規則に則り行います。
- 1) 第1日目、出場チームによる予選グループ戦後、決勝トーナメントを行います。
- 2) 予選グループ戦を3チームによる21点制1セットマッチで行い、各グループ1位が決勝トーナメントへ進出とします。決勝トーナメントチームが16チームに満たない場合は、各グループ1位を除くチームから関西大学バレーボール連盟が決勝トーナメントへ推薦します。
- 3) 棄権チームが生じた場合、予選グループ戦の競技方法は、関西大学バレーボール連盟が定めます。
- 4) 決勝トーナメントは、28点制1セットマッチで行います。但し、準決勝戦、3位決定戦、決勝戦は(第1、2セットは21点・第3セットは15点)の3セットマッチで行います。
- 5) 全てデュースになった場合は、2点勝ち越したチームを勝者とします。
- 6) チェンジコートは両チームの得点合計が7の倍数でスイッチします。(3セットマッチは5の倍数)
- 7) 当日の天候及び参加チーム数により、競技方法を変更する場合があります。

2. 試合球について

- 1) 男子ミカサ製、女子モルテン製とします。

3. 競技進行に関する設定時間について

- 1) トスは試合開始前(前試合終了5分後)に各コート記録席にて行います。連続試合の場合は、前試合終了20分後プロトコールとします。
- 2) 男女決勝戦、3位決定戦は、全コート前試合終了20分後プロトコールで一斉に開始します。
- 3) 公式練習は試合開始前、両チームの合同3分が与えられます。(3セットマッチの場合は合同5分)
- 4) 公式練習には、有効に登録されたコーチ、補欠選手以外の参加は認められません。
- 5) チームが正当な理由なしにプロトコール終了までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告されます。また、試合の進行状況によってはコートを変更して行う場合があります。
- 6) 「ビーチバレーボールジャパンカレッジ2018」への推薦チームを決定するため、別途、『代表決定戦』(選考試合)を適宜行う場合があります。

4. 競技の中断について

- 1) チームは1セットにつき1回のタイムアウトが認められます。尚、スイッチ時の給水のみは認められます。
- 2) テクニカルタイムアウトは、3セットマッチ(1,2セットの両チーム合計21点時)のみ採用します。
- 3) 試合中競技者が負傷した場合、その競技者に1試合につき1回だけ、最大5分以内のメディカルタイムアウトが与えられ、もし負傷した競技者が回復しない場合はそのチームは不戦敗となります。

5. エントリーについて

- 1) 本部にて受付を行います。決められた時間に出場全チーム完了してください。受付を完了していないチームは棄権とみなされます。
- 2) 選手の変更は、登録選手と有効に登録された補欠選手との交代のみ、大会第1日目受付時に認めます。それ以降はいかなる理由でも認められません。尚、変更後は、再変更することはできません。
- 3) 「ビーチバレーボールジャパンカレッジ2018」に出場するチームは、有効にエントリーされた選手3名内において関西予選会から変更することができます。

6. ユニフォームについて

- 1) チーム内両方の競技者のスタイルは、形状、長さが同形、色が同色のものを着用しなければならない。
※女子のユニフォームについては、長袖・短パンタイプは不可とします。
- 2) 男子はタンクトップ、ノースリーブ(Tシャツは不可)を着用してください。また、パンツ丈(裾)は膝上10cm以上とします。女子の水着(下)のサイド幅は7cm以下とします。また、レギンスも不可とします。
- 3) 競技者は、1番と2番のナンバーを前面(胸)と背面に表記しなければならない。ナンバーはユニフォームと対照的な色とする。尚、ナンバーが入っていない場合は、腕に明記してください。
- 4) 代表者会議時に、ユニフォームチェックを完了していないチームは受付時に行います。また、大会プロトコールのチェックの際に規定を満たしていなければ没収試合となる場合があります。

7. 学生役員、チーム役員について

- 1) ラインジャッジ2名、IF1名、点示1名は出場チームで分担してください。
- 2) 学生役員については、予選グループ戦は同グループの試合のないチーム4名、決勝トーナメントは敗者チーム4名が担当してください。第1試合目については、各コート3試合目の両チームより2名ずつで担当し
- 3) 学生役員を行う試合の次の試合が自ペアの試合の場合、大会スタッフに委託することができます。
- 4) バレオ、タオルの着用は認められません。
- 5) 試合開始前(プロトコール時)、当該両チームの選手または補欠のうちの1名ずつは、必ずそれぞれのコート整備を行ってください。
- 6) 担当する試合のプロトコール開始までに記録席に集合してください。
- 7) コーチのベンチ入りは、有効に登録された指導者登録を完了した有資格者としてします。

8. シード（第1～8シード）について

	男子
第1	神戸学院大学（中川大・齋藤侑）
第2	神戸学院大学（関東・中川成）
第3	大阪商業大学（吉岡・岡田壮）
第4	大阪学院大学（東田・小和田）
第5～第7	大阪体育大学（諏訪・齋藤宝） 大阪産業大学（原・赤松） 神戸学院大学（西村・佐藤）
第8～第14	大阪大谷大学（窪田・浜村） 大阪大谷大学（佐野・楠本） 佛教大学（松林・乾） 神戸学院大学（石橋・尾野） 神戸学院大学（藤本・久保田） 神戸学院大学（四方・岡） 神戸学院大学（大槻・戎谷）

	女子
第1	武庫川女子大学（川村・坂脇）
第2	神戸学院大学（岡前・吉田）
第3	武庫川女子大学（金・井浪）
第4	神戸学院大学（田富・辻）
第5	大阪国際大学（山下・張）
第6～第8	園田学園女子大学（杉本・川口） 神戸学院大学（金元・石垣）

9. 抽選について

〔予選グループ戦〕

- シードチームは、決勝トーナメントに進出した際に試合を行うコートで試合ができるように抽選は行わず、同一コートの早い試合順にシードチーム同士が別グループに入るように配慮されます。尚、シードチームが決勝トーナメントへ進出できない場合は、進出したチームがシード権を有します。
- シードチーム以外は、申込順にフリー抽選を行います。

〔決勝トーナメント〕

- シードチームは、シード順どおりとします。それ以外は、関西大学バレーボール連盟が抽選を行います。

<申し合わせ事項>

- 試合当日、悪天候の場合でも必ず会場へ集合してください。
- 開会式には全チーム参加してください。尚、必ずペアで統一された服装で参加してください。
- 第1日目のビーチクリーンには、選手、学生役員は全員参加してください。
- 閉会式は、2日目に出場したチームは参加してください。
- 閉会式終了後、会場の撤去を行います。各チームのご協力をお願いします。
- 会場では盗難事故防止のため、所属品の管理、特に貴重品については十分注意し、各チームの責任において管理してください。
- ゴミは各チームで持ち帰ってください。
- 更衣については、必ず会場更衣室で行ってください。また、男子、女子それぞれテント選手席を設置していますので利用してください。
- 指定された場所以外での喫煙は固く禁止します。また、ユニフォーム着用での喫煙はご遠慮ください。
- 試合前の練習は、指定された場所以外では絶対にしないでください。
- 大会期間中は常に本部からの連絡に注意し、公共の場を会場としていますので、十分マナー等に留意してください。
- 写真撮影について
 - スチームカメラ、ムービーカメラの使用は一切禁止となります。携帯電話での撮影のみ可能です。
※ 出場チーム関係者に限り、当該試合のみ、撮影許可申請により撮影が認められます。
 - 報道関係（スポーツ報道としての取材対象、大学報道としての取材対象）は、撮影許可申請により可能です。
 - 出場選手の権利を守るために、また、選手が試合に集中できるように本大会においてはこのように撮影について規制します。
- ビーチバレーボールジャパンカレッジ2018第30回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会について
 - 開催期間：2018年8月7日（火）～9日（木） 会場：川崎マリエンビーチバレーコート
 - この予選会の成績等をもとに、代表枠を関西大学バレーボール連盟が推薦します。
 - 前年度、全日本学連推薦ベスト4枠（男女2チームずつ）については、原則として予選会の優勝、準優勝チームに与えられます。最終決定は関西大学バレーボール連盟が行います。
 - 本大会に出場し、推薦されたチームは特別な理由がない限り、出場を拒否できません。
※やむを得ない場合は申込時に申告してください。
 - 出場権は1大学2チームまでと規定されているので、上位の成績でチームであっても出場権が得られない場合があります。その場合、出場権の決定手順等は関西大学バレーボール連盟が定めます。
 - 閉会式終了後、「ビーチバレーボールジャパンカレッジ2018」について簡単な説明を行いますので、推薦されたチームは必ず参加してください。

	全日本学連ベスト4枠	関西学連基本枠	計
男子	[2]	[6]	[8]
女子	[2]	[6]	[8]

以上